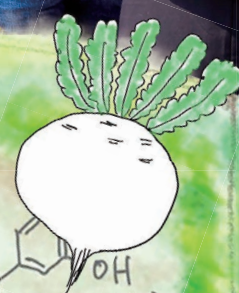
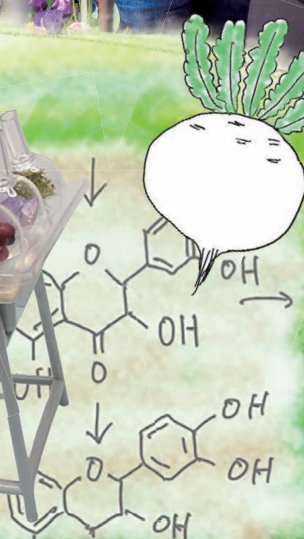


鹿児島大学農学部を

目指す みなさま

農×科学

農学 じんぷもしろい



国立大学法人
鹿児島大学 農学部
FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY





農と環境・食と健康・動物達への
関心と興味が君を育てます



食と農、森と水、
基礎から
最先端バイオまで。



農学部は、平成21年に開学100周年を迎えました。
鹿児島高等農林学校講堂(鹿児島大学農学部前身)

》学部の理念

日本の食料基地に位置する農学部は、農林業、食品産業等、食住農関連分野の技術者、地域指導者等を養成しています。農学部は温帯から亜熱帯へ数百kmに及び多様な自然環境を背景にもち、明治の開学以来、海外への展開を使命としてきました。そのため、フィールドでの教育を重視し、豊かな人間性、現場での実践力、優れた応用力、広い視野と国際性の涵養を教育の目的としています。

- 最先端の科学技術教育 ◎発酵・バイオ・食のサイエンスを極める
- 食と農・環境関連分野の実践重視教育 ◎温暖な環境に恵まれたフィールドなどでの実習・実験



》教育目標

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を目指します。

》アドミッション・ポリシー

- 農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。
- (1) 農林業や食料生産、環境保全、生命科学の農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
 - (2) 自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
 - (3) フィールドでの教育に強い関心を持ち、農学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
 - (4) グローバル化する産業社会に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

》施設・環境

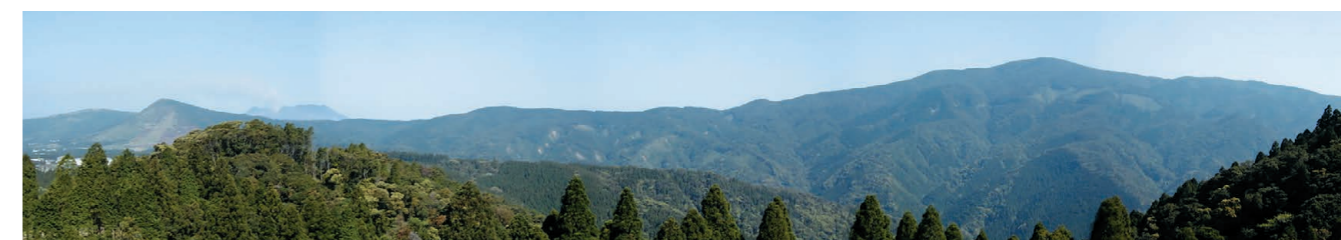
農学部の建物は平成17年から約2年かけて全面改修され、内外装とも一新されました。また、附属農場、附属演習林はいずれも国立大学の中では有数の規模を誇ります。学内にも3万㎡を超える附属農場の一部と多種の樹木が植えられた植物園があり、本部キャンパスに緑の潤いをもたらしています。



▲農・獣医共通棟



▲農学部附属農場



▲農学部附属演習林(高隈演習林)

Q 卒業後の夢について教えてください。

私の夢は森林に生育する希少な動植物を保護・管理し、森林生態系を守ることです。日本は国土の約7割が森林に覆われており、そこには数多くの生き物が暮らしています。自然と私たちが共存するためにも本学で専門的に学んだことを活かし、自然と人との架け橋になりたいと考えています。

村瀬 寿安
農学部 農林環境科学科 4年
長崎県出身 長崎南高等学校卒業

Q あなたが本学科を選んだ理由は?

元々は、人々の生活に欠かせない食料の安全性や流通など、食品全般について興味がありました。食品といっても幅広い分野があるため、農作物だけでなく食品の機能性、微生物、保蔵法について学び、多様な選択をすることができると、食料生命科学科を選びました。

中津瀬 広香
農学部 食料生命科学科 4年
鹿児島県出身 甲南高等学校卒業

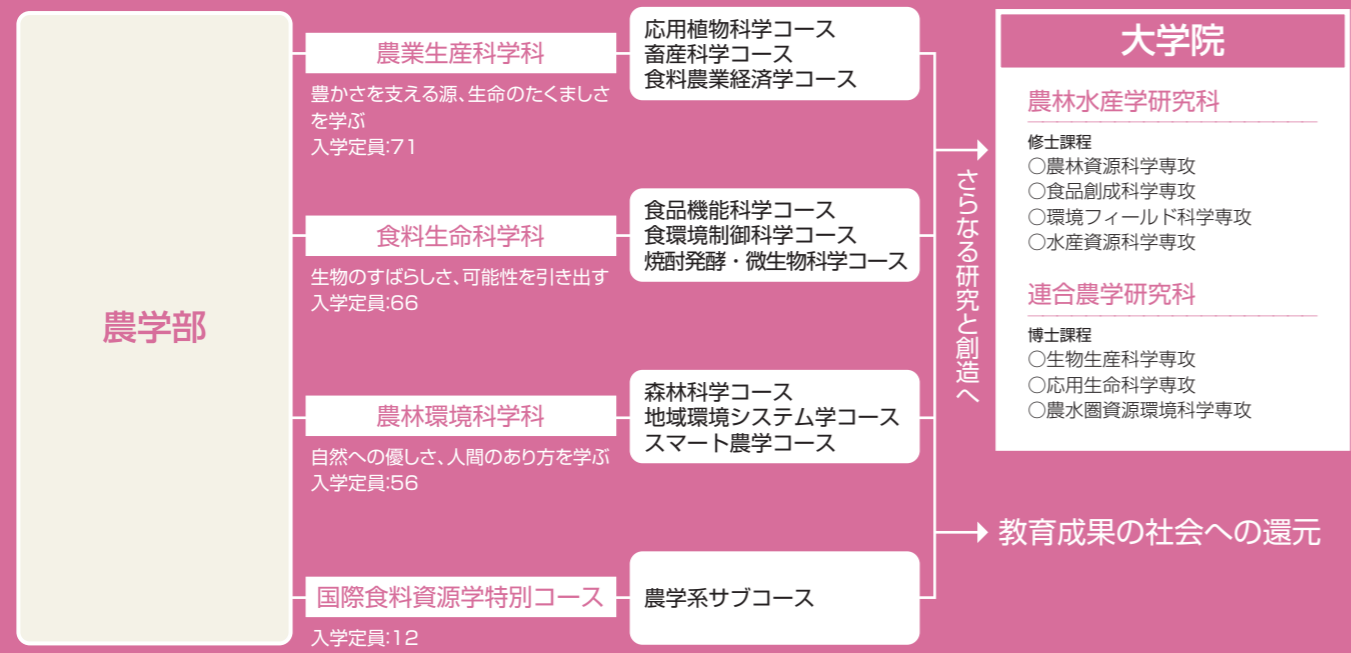
Q 鹿児島大学に興味を持っている受験生に対するアドバイスをお願いします。

農業生産科学科には多くの実習科目があります。作物はもちろんのこと畜産や果樹など実習で扱う物が豊富にあるので興味を持つ内容があるはずです。また、農作業未経験の方でも他の人と協力したり教員の方々に教えてもらいながら作業ができるため、楽しく充実した実習を行うことができます。農作業に興味のある人にお勧めです。

前田 幸暉浩
農学部 農業生産科学科 4年
長崎県出身 諫早高等学校卒業

MAP P84 | 農学部…A-36~41

》学部の構成



農業生産科学科

主な学びの分野 作物形態、熱帯作物、作物の多様性、作物の育種、果樹の生理、野菜の育種、花の細胞工学、害虫の防除、家畜の繁殖、家畜の遺伝子、家畜の行動、畜産物利用、農業環境政策、国際流通、アグリビジネス



農業生産から流通まで一貫して学ぶことができる、そして潤いのある豊かな生活の基盤造りに貢献する人材を育成する学科です。1年次においては、導入科目としての各種概論、農場実習を通して農業の基本を学びます。2年進級時には、応用植物科学コース、畜産科学コース、食料農業経済学コースに分かれます。

》学科の概要

1年次 共通教育による基礎的な教育

2年次 2年次進級時に3コースへ

応用植物科学コース

主な専門教科科目 応用植物科学概論

温暖な気候を活かした農・園芸作物生産の基礎知識・技術・理論の習得を通して、実践的に応用を備えた人材を養成するために、多様な栽培方法や病害虫防除法、また、植物の遺伝的改良について深く学び、専門的知見を向上させる。さらに、地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題を解決するために、指導的役割を果たし得る広い視野と国際性を持った人材を養成します。



畜産科学コース

主な専門教科科目 畜産科学概論

日本有数の畜産地帯である南九州において、家畜の改良、繁殖、行動・飼養管理、生体機構、栄養生理、畜産物利用等に関する教育を行い、効率的で持続可能な家畜の生産から安全・安心で付加価値の高い畜産物の開発に関する知識と技術を備えつつ、畜産学の進歩、地域農業の振興、国産畜産物の競争力強化に貢献できる人材を育成します。



食料農業経済学コース

主な専門教科科目 農業と社会

グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的手法による実践的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興およびアグリビジネスに関する高度な知識を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者を育成します。



》教育目標

農業生産科学科は、日本の主要な農業生産地帯である南九州を教育の場とし、農業生産における動植物の育種、栽培や飼養管理、農畜産物の利活用に関する知識と技術を身につけ、高品質な食料の安定供給や付加価値の高い農畜産物の創出に貢献できる人材の育成を教育目標としています。

》アドミッション・ポリシー

- (1)英語、理科、数学の十分な基礎学力を備えている人
- (2)植物の栽培、動物の飼育、生物・化学実験もしくは調査に意欲のある人
- (3)農畜産物の生産・流通・消費に関心を持つ人
- (4)農村地域や農村社会に関心を持つ人
- (5)農作物や家畜の生産に関わる新技術やバイオテクノロジーに関心を持つ人
- (6)海外の農畜産業や食料資源に関心を持つ人

》農業生産科学科の特色

基礎から応用まで幅広い分野を

農業生産科学科では、農作物や家畜を対象とした遺伝、生理、生態などの基礎的な科目から育種、栽培・飼養技術、害虫制御、生産から流通に至る経営経済などの応用的な科目まで幅広く習得できるようになっています。

》取得可能な資格

- ◎中学校教諭一種免許状(理科) ◎高等学校教諭一種免許状(農業,理科)
 - ◎家畜人工授精師(受精卵移植も含む)(畜産科学コース)
 - ◎食品衛生管理者(任用資格※)(畜産科学コース)
 - ◎食品衛生監視員(任用資格※)(畜産科学コース)
 - ◎飼料製造管理者(任用資格※)(畜産科学コース)
 - ◎食鳥処理衛生管理者(任用資格※)(畜産科学コース)
- ※卒業後、食品衛生に関連する職種についての場合に取得できます。

》卒業後の進路

公務員
◎農林水産省 ◎県庁 ◎市役所 ◎教員
農業関係
◎農業関係機関・団体
アグリビジネス
食品関係
環境アセス関係
薬品関係
化学関係
商社
大学院進学

食料生命科学科

主な学びの分野 食品、生体分子、バイオ、遺伝子焼酎



食料生命科学科は、食品の安全確保と食品の機能を活用することにより健全で豊かな食生活を実現し、食品関連産業や鹿児島発酵食品産業の発展に貢献することを目指しています。

》学科の概要

1年次 共通教育科目、基礎的な専門科目
2年次 実験科目を共通で学ぶ

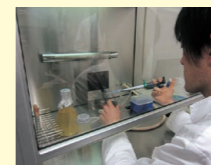
3年次 3年次進級時に3コースへ

全共通の専門教科科目:生物化学、応用微生物学、食品化学

食品機能科学コース

主な専門教科科目 分子食品学、糖質科学、食品タンパク質

「食・健康・豊かさ」の視点から、生命現象の理解、生物機能の利用、食品の栄養生理・機能の解明、機能性食品の開発に関する基礎と応用の教育を行い、多様化するバイオサイエンスやフードサイエンスの新時代に適応できる人材を育成する教育・研究分野です。



食環境制御科学コース

主な専門教科科目 食料安全生産論、食品プロセス学、ポストハーベスト生化学

人間にとって有用かつ健全な農産物の生産から消費にいたる供給プロセスにおける食の安全確保を目指して、生産環境、栽培過程、保蔵加工・流通、および品質・安全に関する科学的な知識と技術を有し、食料生産、食品加工・製造、食品衛生管理、農業資材開発などの分野で活躍できる人材を育成する教育・研究分野です。



焼酎発酵・微生物科学コース

主な専門教科科目 焼酎製造学、醸造微生物学、発酵食品製造実習

焼酎などの伝統的発酵食品及びさまざまな微生物に関連した基礎から応用にわたる広範囲な知識と技術の習得により、発酵食品をはじめとする微生物の利活用分野における技術を継承し、かつ新技術開発のリーダーとなる人材を育成する教育・研究分野です。



》教育目標

食料生命科学科は、食品の安全確保、食品の栄養生理・機能と健康との関わり、微生物をはじめ生物機能の利用に関する知識と技術を身につけ、食に関係する分野および地域産業として特色のある焼酎・発酵食品産業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。

》アドミッション・ポリシー

- (1)化学と生物学の十分な基礎学力を備えている人
- (2)物事に自発的に取り組み、実験や研究に意欲のある人
- (3)動植物・微生物の生命現象や食の安全、食品の機能性、発酵食品などに関心のある人

》食料生命科学科の特色

化学と生物学が基礎

化学的手法を武器に生命現象を解明しようとする分野ですから、化学と生物学の確かな知識が必要とされ、これに対応したカリキュラム編成になっています。

対象の大きさはさまざま

微生物や動植物を相手に分子レベルから個体レベルの視点で、さまざまな大きさのものを対象に幅広い研究を行っています。

》取得可能な資格

- ◎食品衛生管理者(任用資格※) ◎食品衛生監視員(任用資格※)
 - ◎中学校教諭一種免許状(理科) ◎高等学校教諭一種免許状(農業,理科)
- ※卒業後、食品衛生に関連する職種についての場合に取得できる資格です。

》卒業後の進路

公務員
◎県庁 ◎教職
食品関係
発酵・醸造関係
薬品関係
大学院進学
化学関係

卒業生の声

鹿児島県農業開発総合センター 徳之島支場

潟山 祐樹

農学部・農業生産科学科 令和元年度卒業
農林水産学研究科・農林資源科学専攻 令和3年度修了
鹿児島中央高等学校出身

自分の好きなこと・興味のあることを幅広く学べることが鹿児島大学の魅力です。

今、どのような事をされていますか？

私は南西諸島の基幹作物であるサトウキビの土壌・肥料に関する試験・研究と奄美の新たな特産品として期待されるコーヒーの品種試験や栽培体系の確立を目指した試験・研究業務に従事しています。生産現場で問題が生じた際に、「潟山なら解決してくれる。」と言われる職員になりたいです。

鹿児島大学を選んでよかったと思うことは？

農学部は座学の講義で学ぶだけでなく、農場実習や研究室の実験などを通じて学んだ知識が実際の現場でどのように活かされているのかを知ることが出来ます。幼い

ころから農業に興味を持っていましたが、大学で学ぶことで自分自身がどういった仕事に就きたいかが具体的にになり、その目標を達成することが出来ました。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

大学生活は自分で動けば動くほど、様々な発見があります。自分のやりたいことが決まっている人もそうでない人も鹿児島大学で学ぶ中で、なりたいた自分を見つけることが出来ると思います。受験勉強を乗り越えた先に鹿児島大学での充実した学生生活が待っています。夢の実現に向かって頑張ってください。



卒業生の声

鹿児島県庁 農業技師

松木田 実季

食料生命科学科 令和3年度卒業
鹿児島県立 甲南高等学校出身

多様な分野から自分の興味を見つけて、楽しい大学生活を

今、どのような事をされていますか？

私は農家の方と接し、生産技術指導や経営発展の支援に関する仕事をしています。健全な栽培に向けて土壌分析診断や病害虫診断なども行っています。特に花きの普及に携わっており、鹿児島県の花の魅力をさらに伝えられるように努力したいと考えています。

鹿児島大学を選んでよかったと思うことは？

私は食に興味があり、特に機能性や健康効果について学びたく食料生命科学科を選びました。この学科で主に食品の機能性について学んでいく中で、農業生産の現場と

の関わりが深いと感じ、興味の幅が広がりました。また、鹿児島県の魅力を新たに発見または再確認できました。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

鹿児島大学では焼酎発酵や桜島大根、サツマイモ澱粉など鹿児島特有の産物について学ぶことができます。また、食に関して生産環境から食品の栄養生理や機能性に関わることまで六次産業的に幅広く学べる環境が整っています。自分の興味のあることを見つけて、様々な経験をしてほしいと思います。



みどり豊かな地域環境の創出 農林環境科学科

主な学びの分野
森林環境保全、農地保全、防災、林業、緑化、スマート農林業
木材材料、居住性、水資源、バイオマス資源、環境情報



農林環境科学科は、農山村における生産基盤の整備、森林資源の利活用および国土防災にかかわる技術を習得し、地球環境の保全に貢献する人材を養成します。1年次は、主に共通教育において、幅広い教養と国際性、自然科学に関する基礎的な能力を養成するための科目を履修します。2年次からは、森林科学コース、地域環境システム学コース、スマート農学コースに分かれて専門分野を学びます。

》 学科の概要

1年次 共通教育による基礎的な教育

2年次 2年次進級時に3コースへ

森林科学コース

主な専門教科科目
森林生態学、森林政策実施論、国際森林論
森林動物学、フォレスト総合実習、屋久島実習

暖帯林から亜熱帯林の森林生態系に関する理解を深め、国内有数の木材供給基地である南九州の森林資源の循環的利用と国土保全のための計画・管理に関する知識と能力を持った人材を養成します。



地域環境システム学コース

主な専門教科科目
農業水利環境学、農地保全学、環境計測学
バイオマス工学、砂防学、地域計画学

地域資源の活用や管理、地域環境の整備や修復および地域防災に関する情報の発信等に関する基礎的な知識と論理を修得し、農業生産や豊かな地域環境創出に関わる技術をもった人材を養成します。



スマート農学コース

主な専門教科科目
農林業ICT論、農林産物サプライチェーン
農林業センシング、スマート農林業演習

農林産物の生産・流通・加工・消費までのバリューチェーン及びICT等の活用を含むデータサイエンスに関連した基礎から応用にわたる広範囲な科学的知識と技術の習得により、地方の農林業の中心的存在となる新たな農林業を志向する人材を養成します。



卒業生の声

鹿児島県土地改良事業団体連合会
松野下 公太
農林環境科学科
令和3年度卒業
鹿児島県立加世田高等学校出身

ぜひ様々なことに挑戦して、将来進みたい道を見つけてください!

私は農地や農業施設の調査、設計、維持管理を通して農業の生産性の向上や生態系の保全などを目的とする仕事をしています。あまり耳にしたことがないと思いますが、このような分野は農業土木と呼ばれています。私も大学に入学した頃は知りませんでした。2年生の頃受講した講義で初めて知りました。農業土木の食料生産だけでなく様々な面で社会貢献できる点に魅力を感じこの仕事を選びました。

農林環境科学科では農業土木だけでなく林業や防災など他にも多くの専門的なことを学ぶことができ、今まで知らなかった分野に出会うことも多々あると思います。ぜひ様々なことに挑戦して学んで、将来進みたい道を見つけてください。



》 教育目標

農林環境科学科は、地域農林資源の利活用および森林や農地の保全と防災に関する知識と技術を身につけ、自然と調和した農林業生産の基盤づくりおよび農山村の振興や生活環境の維持と創出に貢献できる人材の育成を教育目標にしています。

》 アドミッション・ポリシー

- (1)数学、理科、外国語の基礎学力を備えている人
- (2)地域資源を利用した農業や林業の振興、森林や農地といった国土の整備・保全のための勉学に意欲を持つ人

》 農林環境科学科の特色

農林業は食料や木材などの収穫物を私たちに供給するという大切な役割を持っています。また、生態系を保全したり自然景観や人間の生活環境を創造するグローバルな産業です。地球の生態系を維持するためには、自然への敬意、そしておごらない謙虚な態度が必要です。農林環境科学科は、総合的な視点にたち地球環境を保全する農林業の発展に寄与する人材を育てます。

》 取得可能な資格

- ◎中学校教諭一種免許状(理科)
- ◎高等学校教諭一種免許状(農業、理科)
- ◎樹木医補*1 ◎森林情報士2級*2 ◎自然再生士補*1

*1: 関連科目を修得すること
*2: 関連科目を修得することと、卒論の内容に一定の条件で資格を取得できます。

》 卒業後の進路

- 公務員** ◎農林水産省 ◎林野庁 ◎県庁 ◎市役所 ◎教員
- 林業関係** ◎林業関係機関・団体 ◎森林・木材関連企業
- 農業関係** ◎農業関係機関・団体 ◎農業機械・施設関連企業
- 建設・土木関係** ◎建設関連企業 ◎環境関連企業
- 大学院進学**

21世紀の国際的な食料問題に取り組む人材の養成

農学部・水産学部 国際食料資源学特別コース

主な学びの分野
実用英語、食料資源学、国際水産学
国際農学、国際協力、食料生産と環境
陸域資源、水産資源、海外研修



Q

あなたが本学科を選んだ理由は?

農水産学の食料資源問題をグローバルな視点で幅広く学び、その中で最も興味を持った分野に進むことができるのが魅力的でした。海外研修が必修であることや、卒業研究を外国で行える体制が整っている事を知り、本コースを選びました。

藤本 夏央
農学部 国際食料資源学特別コース 4年
兵庫県出身 宝塚北高等学校卒業

Q

卒業後の夢について教えてください。

水産サブコースで学んだ専門性を活かして、水産物をたくさん扱う仕事をしたいと考えています。具体的には水産商社などです。鹿児島大学のある鹿児島市は錦江湾や中央卸売市場がすぐ近くにあるので、在学中に新鮮な魚をたくさん食べて将来の仕事に活かしていこうと考えています。

鶴塚 真牙
水産学部 国際食料資源学特別コース 3年
熊本県出身 第一高等学校卒業

》 特別コースの目的

特別コースでは、東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成します。

》 特別コースの教育内容

- 1.国際的な食料資源問題に関する専門的な知識と豊かな教養を体系的に修得します。
- 2.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い英語能力や異文化理解力を身につけます。
- 3.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い社会貢献意識と豊かな思考力を育てます。
- 4.農学系学生と水産学系学生と一緒に学び、総合的、複眼的な視野を身につけます。

国際食料資源学特別コース【入学定員22人】
(農学系サブコース:12人+水産学系サブコース:10人)

国際社会における地域間の連携・協力を通じた、食料資源の持続生産と問題解決のための高度な専門知識を修得する。

- 国際農林水産学
- 国際食料生産学
- 持続的農林水産資源学

- 海外研修
- インターンシップ
- 海外共同研究参画
- 外国語訓練

食料・資源問題について国際的に活躍できるグローバル人材

》 卒業後の進路

- 就職先** ◎鹿児島県 ◎青年海外協力隊 ◎農林水産省 ◎明治屋 ◎西原商会 ◎マルイチ産商 ◎三菱食品 ◎日本水産 ◎東海シープロ ◎国分グループ ほか
- 進学先** ◎鹿児島大学大学院農林水産学研究科 ◎東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 ◎東京大学大学院農業・資源経済学専攻

》 特別コースの特色

本コースでは、4年次に「卒業プロジェクト」に取り組みます。卒業プロジェクトでは、農学部・水産学部の指導教員の元で、短期留学による海外農水産業の調査や国際機関での実務研修などを実施します。

卒業プロジェクト:ケース①

鹿児島における熱帯作物キャッサバ栽培確立を目指して

熱帯原産のキャッサバ(Manihot esculenta Crantz)は、年間降水量600mm未満の半乾燥から1000mm以上の湿潤環境の天水条件下、さらには低肥沃・酸性土壌でも栽培が可能な有用作物です。一方で、国内においては温暖化による気温上昇が報告されており、近い将来の熱帯化について検討しておくことが重要です。そこで、本卒業プロジェクトでは、国内におけるキャッサバ栽培の最適化を行う目的で、鹿児島大学においてフィールド実験を行いました。具体的には、乾物生産量、塊根・デンプン収量、アミノロス含量等の経時的変化について調査しました。その結果、塊根収量は生育期間が長くなるほど多くなり、またデンプン収量は熱帯産キャッサバと比較して多いことが分かりました。本研究によって、国内におけるキャッサバの最適な栽培方法の確立に資する基盤情報を得ることが出来ました。



キャッサバの生育中期の調査

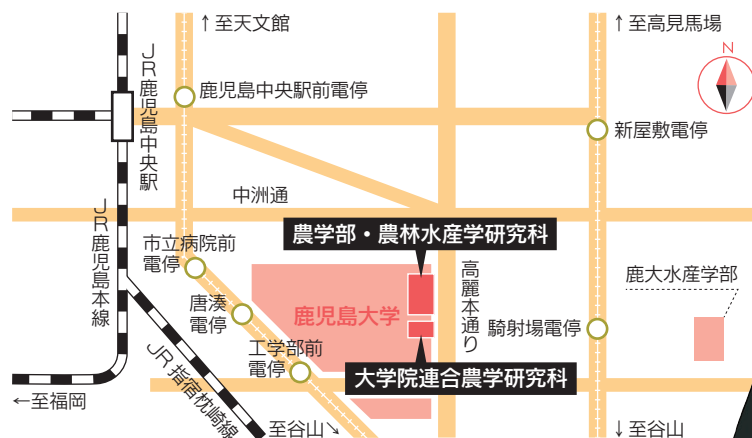
卒業プロジェクト:ケース②

マレーシア漁村における生活基盤向上を目指して...

特別コースの学生がマレーシアでプロジェクト活動をはじめから4年がたちました。1年目は日本ならではの水産物の有効利用法を取入れてもらうことを目指し、2年目は地域基盤型の資源利用に関する調査を行って来ました。これらは活動の事前調査に位置づけられるものでしたが、その後はコロナ禍で実際の渡航がかなわない状況でもオンラインにより活動を進め、スマホによる水産物の漁獲報告システムの導入や投棄される魚の残滓の有効利用の提案など地域漁業者とのコミュニケーションから得られた要望に対応する活動に変化しています。アフターコロナの状況下でこれらの活動がさらに現地で深められることが期待されています。

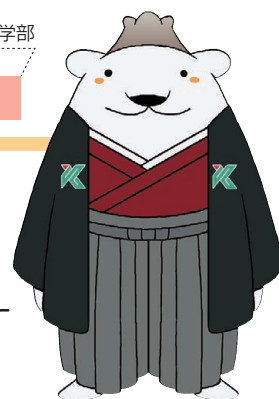


マレーシアの公設市場の視察



鹿兒島大学公式マスコットキャラクター

さっくん



2022



国立大学法人

鹿兒島大学 農学部

FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY

〒890-0065 鹿兒島市郡元1-21-24 鹿兒島大学農学部学務課学生係

TEL: 099-285-3553 FAX: 099-285-3533

<https://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/>

E-mail: nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp